

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 人類の出現と文明

名前

得点

/9

問1 石の柱に刻まれた「ハンムラビ法典」には、くさび形文字で「目には目を、歯には歯を」という原則が記されている。このように、法律を文字として記録し、公開した目的として最も適切なものはどれか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

1. 特定の神官階級にのみ法律を伝え、民衆を秘密裏に支配するため
2. 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため
3. 文字を読めない民衆のために、刑罰の内容を絵で分かりやすく示すため
4. 他国との貿易において、商品の価格や取引のルールを共通化するため

問2 古代ローマ帝国が、地中海を囲む広大な領土を長期間にわたって統治し、高度な文明を維持できた理由として、インフラ整備の観点から説明したものと正しいものを次の中から選びなさい。（2022年 佐賀公立入試 類似）

1. 「すべての道はローマに通ず」と言われるほど徹底した道路網の整備により、物資の流通や情報の伝達、軍隊の移動を効率化したため。
2. 各地の有力者に土地を仲介する封建制度を導入し、道路や水道の管理をすべて地方の領主に任せることで中央の負担を減らしたため。
3. 他民族との接触を断つために主要都市の周囲に巨大な壁を築き、道路網をあえて分断することで外敵の侵入を防いだため。
4. 文字を読める特権階級のみを対象とした学問を奨励し、道路や水道の建設計画を一般市民には秘匿したため。

問3 紀元前2500年ごろ、現在のパキスタン付近を流れるインダス川流域で栄えた文明において使用され、石製の印章（印鑑）などに刻まれているものの、現在も解読されていない文字を何といいますか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. インダス文字
2. 楔形文字
3. 甲骨文字
4. 神聖文字（ヒエログリフ）

問4 孔子を始祖とする儒教の考え方は、日本の歴史学や政治にも大きな影響を与えました。江戸時代、儒学の知識を背景に、日本の政権交代の歴史を古代から徳川家まで「五変九回」という独自の視点で分析した『読史余論』を著した人物は誰か。（2022年 鳥取公立入試 類似）

1. 新井白石
2. 徳川家康
3. 本居宣長
4. 福沢諭吉

問5 日本の縄文時代と同じ時期、世界各地では大河の流域を中心に古代文明が成立しました。中国の黄河流域で発展した文明について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. チグリス川・ユーフラテス川の流域で、粘土板に楔形文字を刻み、独自の天文学を発展させた。
2. インダス川の流域で、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を建設し、公共の浴場や下水道を整備した。
3. ナイル川の流域で、洪水の時期を予測するために太陽暦を作り、死後の世界を信じてピラミッドを建設した。
4. 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。

問6 チグリス川・ユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明では、粘土板に葦（あし）の茎などを押し付けて、楔（くさび）のような独特な形を組み合わせた文字が使われていました。この文字の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 楔形文字
2. 甲骨文字
3. ヒエログリフ
4. アルファベット

問7 現在のペルーなどに見られる、精巧に組み込まれた石壁を特徴とするインカ帝国の遺構に関連して、この地域の歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。
2. 16世紀にポルトガルが大陸全体を植民地化し、先住民の伝統的な石造り技術をヨーロッパへ伝えた。
3. 18世紀にスペインやイギリスが勢力を争い、先住民を味方につけたイギリスがアンデス全域を支配した。
4. 18世紀にオランダが先住民の文明を保護する目的で進出し、キリスト教を禁止する政策をとった。

問8 イタリア半島中部に位置する都市国家から発展し、紀元前6世紀末に貴族を中心とした「共和制」が成立した後、紀元前1世紀には地中海の全域を統一する巨大な帝国へと成長した国家の名前を答えなさい。（2025年 和歌山公立入試 類似）

1. ローマ
2. アテネ
3. 長安
4. バビロン

問9 7世紀初め、アフリカ大陸の北東に位置し、紅海とペルシア湾に挟まれた三角形の半島において、唯一神アッラーを信仰する新しい宗教が成立しました。この宗教を創始した人物を、次の中から選びなさい。（2024年 愛知県公立入試 類似）

1. ムハンマド
2. バスコ=ダ=ガマ
3. ルイ14世
4. 釈迦

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため	ハンムラビ王は、メソポタミアを統一した際、それまでバラバラだった慣習やルールを「成文法（文字に書かれた法律）」としてまとめました。誰の目にも見える形で法律を提示することで、公平な裁判の基準を示し、王の権威のもとで社会秩序を安定させる狙いがありました。
問2	<b>答え 1</b> 「すべての道はローマに通ず」と言われるほど徹底した道路網の整備により、物資の流通や情報の伝達、軍隊の移動を効率化したため。	ローマ帝国のインフラ整備は、単なる利便性の向上だけでなく、広大な領土を中央集権的に統治するための合理的なシステムでした。特に整備された道路網は、反乱の鎮圧や外敵への対処のために軍隊を素早く移動させる軍事的な役割と、帝国全域の交易を支える経済的な役割を兼ね備えていました。また、水道などの公共施設の建設は、征服地の住民にローマ文明の恩恵を実感させ、統治を安定させる目的もありました。
問3	<b>答え 1</b> インダス文字	インダス文明で用いられた文字は、象形文字に近い形態を持っており、これまでに約400種類の記号が確認されています。主に印章と呼ばれる石のハンコに動物の絵とともに刻まれており、交易の際の所有権を示すために使われたと考えられていますが、ロゼッタ・ストーンのような翻訳の鍵となる資料が見つかっていないため、今もなお未解読のままです。
問4	<b>答え 1</b> 新井白石	江戸時代中期の儒学者である新井白石は、儒教的な合理主義に基づいて歴史を考察しました。『読史余論』では、朝廷から武家へと政治の実権が移り変わる過程を論理的に整理しており、単なる出来事の羅列ではなく、歴史の因果関係を解き明かそうと試みました。
問5	<b>答え 4</b> 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。	中国文明は、紀元前16世紀ごろに黄河流域で興った「殷（いん）」などの王朝を中心に発展しました。この文明では祭祀のために精巧な青銅器が作られたほか、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われており、これが現在の漢字の原型となりました。他の選択肢はメソポタミア文明、インダス文明、エジプト文明の特徴を示しています。
問6	<b>答え 1</b> 楔形文字	メソポタミア文明では、川の流域で入手しやすかった粘土を板状にし、そこに植物の茎などを押し当てることで記録を残しました。この時についた跡が「くさび」の形に見えることから、楔形文字と呼ばれます。甲骨文字は中国文明、ヒエログリフはエジプト文明で使われた文字です。
問7	<b>答え 1</b> 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。	アンデス山脈を中心に栄えたインカ帝国は、16世紀にスペインの征服者によって滅ぼされました。その後、スペインによる植民地支配が始まり、先住民は過酷な労働を強いられたり、ヨーロッパから持ち込まれた病気によって人口が激減したりするなどの大きな被害を受けました。支配とともにキリスト教の布教も進められたため、「キリスト教の禁止」という説明は誤りです。また、この地域において大きな影響力を持ったのはポルトガルではなくスペインです。
問8	<b>答え 1</b> ローマ	イタリア半島中部の小さな都市国家から始まったこの国家は、王政を廃止して貴族による共和制を確立しました。その後、平民の権利拡大や周辺地域への征服活動を通じて勢力を広げ、最終的には地中海を「われらが海」と呼ぶほどの広大な帝国を築き上げました。ギリシャのアテネと異なり、広大な領土を統治するための法整備や土木技術が発達した点も特徴です。
問9	<b>答え 1</b> ムハンマド	7世紀初めに、アラビア半島のメッカで商人をしていたムハンマドが神の啓示を受けたとして創始したのがイスラム教です。ムハンマドは唯一神アッラーへの帰依を説き、アラビア半島の諸部族を統合する精神的な支柱となりました。